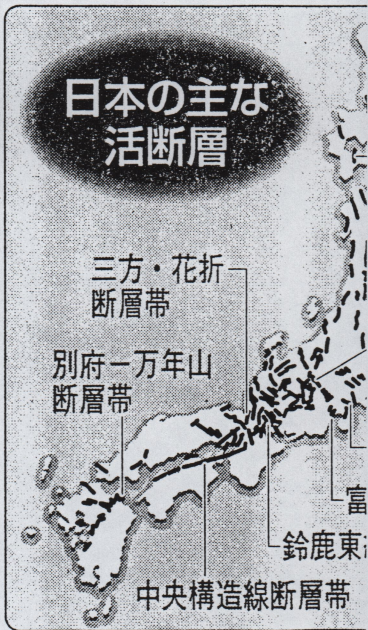


阪神大震



国内最大級の内陸直下型地震
起こした温見断層の調査活動
＝平成12年10月、福井県大野

将来の危



■直前予知は困難
 複数の断層が同時に高いという。杉山雄一・副、「ひとつの活断層では、活断層の直前予知は可能なのか。調査委の長期評価部会長を務める島崎邦彦・東大地震研究所 可能性がある。今教授は「活断層で地震前に異常層だけでなく、地が観測されたことはなく、直前を調べるのが重予知は困難。地盤のずれの速度が遅いため、前兆があるかどうか」

科学のまど

二百センチの大きさのスクリーンの前で、ベスト状の衣服を身につける。「実際に体験していただく」と思っています。

のあった人物の亡霊キャラクターたちとやりとりしながらストーリーが展開する。

こう語るATR知能映像通信研究所の土佐尚子さんと二人で俳優になった気分を体験したのが、「インタラクティブシアター」。手でしまい、コンピュータ

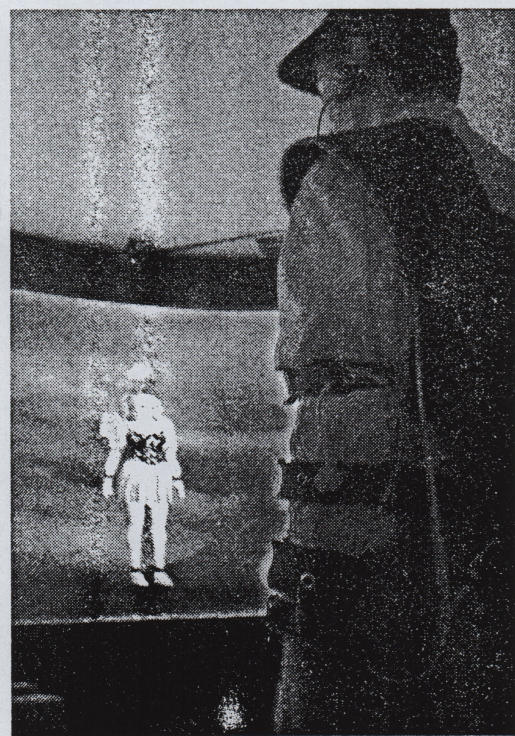
人工知能

と背中に取り付けた磁気センサーが動きを察知し、コンピュータがスクリーン上で二人の分身を操作する。

シェークスピアの「ロミオ&ジュリエット」をモチーフにした内容。二人が死ぬ、自分の分身が亡霊と接したロミオとジュリエットとなつて、生前、かかわり

画像③

レーターが振動で教えてくれる。土佐さんは「観客が主人公を演じる映画を試みてみたかった。演劇と映画がいっしょになったような映画。そういう要素を仮想世界に取り入れようと思つた」と話す。



自分の分身が主人公になるATR知能映像通信研究所のインタラクティブシアター

豊かな点。土佐さんらは男性五十人、女性五十人の計百人に百種類の単語を怒り、喜びなど九つの感情を含める。言葉がどんな感情を含んでいるのかニューラルネットワークに学習させた。これを使って「快・不快」「感情の強弱」に応じた言葉を開発。感情表現に「快・不快」を高くして強い声でしゃべったりすると笑ったりする。感情表現に「快・不快」を高くして強い声でしゃべったりすると笑ったりする。

応じてコンピュータがロミオとジュリエットの画像を制御しているため、セリフを高くして強い声でしゃべったりすると笑ったりする。感情表現に「快・不快」を高くして強い声でしゃべったりすると笑ったりする。

現在、音声から言葉の意味と感情を拾い出す作業に一台のパソコン、画像表示の作業に一台のパソコンを割り当てるなど三、四台のパソコンでシアターを実現できるような改良を加えている。

「映画監督は物語の設定、舞台など世界観だけを意図する。それを使って観客が自分の見たいように見られるような映画システムができるようになると思

言葉から感情を抽出し表情豊かに

う」と土佐さんは話している。(蜷川由彦 yoshi@ed.sankei.co.jp)